

**COMPARING SCHOOL-LEVEL TO
PRIVATE HIGHER EDUCATION:
Using the Dominican Republic as a Pioneer Study**

Ancell Scheker Mendoza
University at Albany, State University of New York

私学高等教育と初等・中等教育の比較的考察：
ドミニカ共和国における先駆的研究
アンセル・シャイカー

要約

本ワーキング・ペーパーは、私学高等教育研究における概念や分類を再考し、それらの初等・中等教育への適合性を研究するものである。この研究における最も特徴的な様相は、ラテンアメリカの私学高等教育拡大に見られた「三層の波」ーカトリック、エリート、需要吸収ーと、財政、ガバナンス、機能の三分類を、ドミニカ共和国における既存、新出の私学初等・中等教育機関に照らし合わせて研究することである。

レヴィー (1986a) は、ラテンアメリカの私学高等教育における明確な拡大パターンを特定した。私学の拡大は、カトリック系大学、無宗教エリート系大学、そして公的セクターが収容することのできなかつた無宗教系需要吸収型機関の出現によってパターン化されるとしている。このパターンは、レヴィー (1991) において、ドミニカ共和国の高等教育においても確認されている。その他のラテンアメリカ諸国と同様、ドミニカ共和国には1960年代まで私学高等教育は存在せず、カトリック系大学がその先駆けとなった。その後、私立大学が設立され、そのうち2校が「エリート」と分類される。急速な高等教育の需要拡大は、多数の私学高等教育機関の出現を助長した。過去数十年、ドミニカ共和国の私学高等教育拡大は注視すべきものとなっている。60%以上の在学者は私学機関に所属している。ラテンアメリカの地域的パターン (三層の波) に適合しながらも、ドミニカ共和国の各私学高等教育機関は独自の目的、ならびにダイナミクスを持つ。私学初等・中等教育機関は、このようなパターンに適合するのだろうか。このような異なるレベル間における研究は前例を見ない。

本ワーキング・ペーパーは、非高等教育機関における私学セクターの拡大を同セクター高等教育機関との比較的視点で研究し、同等のパターンを発見するものである。そこにおいて、同時に差異も発見されている。異なるレベル間の比較は、公私セクター間の差異と同時に、添付資料1にて明示されている。

訳：長澤 誠
ニューヨーク州立大学・オルバニー校

Translated by Makoto Nagasawa
University at Albany, State University of New York

Scheker, Ancell M. 2007. “Comparing School-Level to Private Higher Education: Using the Dominican Republic as a Pioneer Study” *PROPHE Working Paper No.8*, Program for Research on Private Higher Education (PROPHE), University at Albany, State University of New York.